

料理教室

先日、僕たちが世話人を務める「ホームケアを支える会」と栄養士のグループ「Eネット」の共催で「介護者のための料理教室」というものを開催しました。当日は朝から雨が降りましたが、20人以上の参加者でにぎやかに行いました。

在宅ケアを進める上で食事は重要なポイントになります。特に飲み込みの悪くなった方への食事は「流動食」になりがちですが、食事は栄養を入れることだけではなく、「おいしさを楽しむ」ことでも重要な因子なのです。当日お世話になった「Eネット」の方は「楽寿食（らくじゅしよく）」と名づけておられました。

今回も「うなぎのとろろかけ」など、本当においしいそうなものがずら

りと並びました。大変好評でしたので、年内にもまた企画しようと思っています。ぜひご参加くださいね。

こんな方・あんな方

話は続きますが、先日の「介護者のための料理教室」へ最高齢での参加はUさんの奥様でした。ご主人は八八歳、そして奥様は八五歳です。と言っても何とか参加してくれたと言うわけではありません。いの一番に申し込みをいただき、当日も先頭に立って調理をされていました。さらには、お近づきになった方とも介護の話などなど八面六臂の大活躍。栄養士の方も年齢を聞いてびっくりされていました。

Uさんの奥様は新宿区内で行われる介護者教室には積極的に参加され、その情報を有効に利用されています。

ちなみに僕たちのことも「あかね苑」での教室でお聞きになったそうです。

ホームケアを支える会

日時 二月二四日（日）
午前十時から二時間
場所 三栄町社会教育会館
会費 300円
テーマ 配食サービスについて